

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 28 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 5 月 29 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	ヴェルサイユ大学(日本語名) Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・フランス語/英語・フランス語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中十～1 月上旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 1.6 万人
創立年	1991 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 185 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	4400	円	約 440 ユーロ/月
食費	1500	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200	円	
現地交通費	447	円	うち 393€はパリ周辺地域対応の年間定期(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	5367	円	
被服費	220	円	
医療費		円	
保険費		87000 円	形態: 明治大学のもの
渡航旅費		250000 円	
ビザ申請費		20000 円	
雑費		円	
その他	300	円	お土産など
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	12434€ (=2300290 円)	357000 円	
総計(A+B) ※円	2657290 円		もう少し使っているような気がします。

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田 目的地：シャルル・ド・ゴール 経由地：ヘルシンキ	
復路 出発地：シャルル・ド・ゴール 目的地：羽田 経由地：	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：Air France 料金：250000	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：Air France 公式サイト) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：Vauban) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学から提携寮の紹介があった	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
非常に良かったです。自室にシャワーとトイレとキッチンがあり、備え付けの机とベッドがあります。歩いて 3 分でキャンパスに着くうえ、徒歩圏内に 3 軒スーパーがあり、飲食店も多くあります。徒歩 15 分の最寄駅から鉄道に乗って 50 分ほどでパリ市内に行くことができます。また、キャンパスに近い寮なので留学生も多く、友達と集まりやすかったのも良かったです。寮内に共有スペース(3 階)とランドリールーム(4 階)があります。渡航前に大学からメールで寮の希望を聞かれるので、第一希望だけ記入すれば好きな寮に入れます。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 入居に必要な保険と電力会社の契約を忘れていて、どちらも入居当日に契約しました。ヴェルサイユ大学の留学生担当者に相談して、どちらも対応してもらいました。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

なし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

特に問題はなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

CAF という家賃補助を受けるために、現地で銀行口座を開けました。大学の留学生担当の方に相談したところ、英語を話せる現地の銀行に繋がってくれました。普段の生活は日本から持参したデビットカードを使用していましたが、1 年で驚くほど円安が進んだので、最初に生活費を現地の口座に移してユーロに変えておけばよかったなと思いました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

防寒としてヒートテックやカイロ、また 5 月 6 月ごろの熱波対策にはハンディファンや保冷剤、折り畳みの日傘などがあるといいです。どれもフランスでは見かけませんでした。また、入寮初日に記入する書類に証明写真が必要なので、持っていくといいと思います。最寄り駅の証明写真機で撮ることもできます。日本食はアジア食品店で大抵入手できますが、どれも高いので荷物に入る分だけ持っていきました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	☒ (まだわかりません) 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Culture anglophone : British film and society	イギリス映画と社会
科目設置学部・研究科	Languages
履修期間	4 か月
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dawes Simon
授業内容	講堂で、教授が選んださまざまな時代の社会問題に関するイギリス映画を観る。後日アップロードされる映画の解説動画も観る。
試験・課題等	期末試験(教授に相談すると、試験と同じ内容のレポート提出に変更できます。)
感想を自由記入	面白い授業でした。映画から当時のイギリスの社会情勢や問題について考えることができるので、とても新鮮でした。ただ、イギリス英語に慣れるまでは聞き取るのが難しかったです。試験は、授業で扱った映画のうち 2 つを選んでその違いと共通点を論じるエッセイを書くもので、事前に試験問題について詳細な説明があります。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to american cinema		アメリカ映画入門
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Archambeaud Catherine	
授業内容	アメリカの映画史について	
試験・課題等	期末試験	
感想を自由記入	おもしろかったです。自分の知っている映画やアニメーションの歴史的な変遷などを、実際に映像を観ながら知ることができます。また、授業スライドは多いですが試験対策にとっても役立ったので、他の授業に比べて対策はしやすかったように思います。試験は用語の意味を書くものや、教授がその場で見せる映画のワンシーンについて学術的な観点から短いエッセイを書くものなどでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Pratique de la langue écrite : Communication et négociation à l'internationale		コミュニケーションと国際交渉
科目設置学部・研究科	Economics	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Augustyniak Virginie	
授業内容	TD という、教室で行う少人数の授業。ニュース記事を読んで設問に答え、それについて全体でディスカッションをする。自分で決めたテーマについて、実際の文献資料やインタビューなどを通じて情報を集め、それを元にニュース記事を作成する。	
試験・課題等	期末課題(ニュース記事の作成)	
感想を自由記入	最初の数回の授業はニュース記事を読んで問題を解き、ディスカッションをしていました。周りのレベルが高く、ディスカッションは難しかったのですが、その分英語スキルが伸びた気がします。ニュース記事の作成に関しては、毎回の授業で教授からフィードバックを貰えるので、非常にやりやすかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Histoire de l'art		美術史
科目設置学部・研究科		
履修期間	3 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Yann Datessen	
授業内容	フランスの芸術の歴史について。最後は各自ルーブル美術館に行って、自分が良いと思った芸術品についてのレポートを書く。	
試験・課題等	最終レポート	
感想を自由記入	フランス語開講の授業だったので、フランス語を話す友人の助けを借りて受けていました。オンラインなので自分で調べたりもしつつ受けていました。フランスの美術が好きなので取って良かったです。最終レポートはフランス語で 500 語程度です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Sport : danse		ダンス
科目設置学部・研究科		
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	実習(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Claudie Labourdette	
授業内容	授業の前半はダンスの歴史や構成方法について学び、後半で先生が作った振付を踊る。また、学期の後半は 4, 5 人でチームを組み、テーマに沿ったオリジナルのダンスを作って披露する。このオリジナルダンスは評価の一環になる。	
試験・課題等	オリジナルダンス(実技)と筆記試験	
感想を自由記入	スポーツの授業はフランス語で行われますが、現地の友人を作る非常に良い機会なので、ぜひ何かしらのスポーツは履修してほしいです。筆記試験は先生に相談することで英語での試験に変えてもらえます。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Culture et médias au Royaume-Uni		文化とメディア
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Dawes Simon	
授業内容	メディアの形態についての講義とディスカッション。	
試験・課題等	グループプレゼンテーションと期末試験(教授に相談すればレポートとして提出することも可能)	
感想を自由記入	主にイギリスのメディア文化について学びました。ディスカッションが多く、グループプレゼンテーションのために授業外で集まって活動したりしたので、英語力が伸びたと思います。日本との文化の違いを感じることができ、良い授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Culture Anglophone: British TV Comedy		イギリスの TV コメディ
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Dawes Simon	
授業内容	イギリスの TV コメディについての歴史	
試験・課題等	最終試験(教授に相談すればレポートとして提出することも可能)	
感想を自由記入	イギリスのコメディについて、学術的な観点から考えることができる授業です。コメディも学びの視点から見るとまた違った面白さがあると気付きました。教授の話がわかりやすく、授業の構成も面白いので、非常に良い授業でした。最終試験は、授業で扱ったイギリスのコメディについていくつかピックアップしてエッセイを書くものでした。試験問題については事前に詳細な説明があります。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Panorama de la culture britannique		イギリスの文化
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Bonnavaud Marie—Laure	
授業内容	イギリス史	
試験・課題等	期末試験	
感想を自由記入	難しい授業でした。教授の声とスライドの文字が小さく、スマホで撮影することもできないので、いろいろと大変な授業です。また、試験に出される範囲も細かく、王室の家族関係やあまり有名でない人の名前など、重箱の隅をつつくような問題が多かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Représentations de la société américaine à l'écran		アメリカ映画における社会の表象
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Archambeaud Catherine	
授業内容	アメリカ映画において、当時の社会問題がどのように表象されてきたか	
試験・課題等	期末試験	
感想を自由記入	おもしろい授業でした。映画を通じて、当時のアメリカ社会がどのような問題を抱えてきたか、マイノリティに対するスポットの当て方がどう変化してきたかといった題材を扱います。自分の興味に合っていたと思います。期末試験は、授業スライドの内容と、その場で教授が見せる映画のワンシーンについての短いエッセイです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Droit et Politique aux Etats-Unis		アメリカ政治
科目設置学部・研究科	Law	
履修期間	4 か月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Malaplate Christiane	
授業内容	アメリカの憲法と法律をめぐる歴史	
試験・課題等	期末試験	
感想を自由記入	日本とは大きく異なるアメリカの憲法や法律について学ぶことができます。期末試験はマーク式ですが授業テキストをそのまま覚えなければいけなかったのが難しかったです。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中は現地での生活に集中していたため、本格的に就活について考え始めたのは帰国した大学 3 年の 6 月ごろからです。ただ、留学中も、元から気になっていた企業のインターンには応募していました。サマーインターンの応募が大体 5 月 6 月ごろから始まるので、一年間留学する人は(もちろん現地での経験を最優先にしてください)、そのくらいの時期から意識するといいと思います。私は留学経験を通して、海外と関われる仕事や英語を使う仕事がしたいという意識が強まりました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請と取得、航空券の手配、寮の申請など諸々の手続き
	8 月 ～ 9 月	出国
	10 月 ～ 12 月	秋学期
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験、春学期
	4 月 ～ 7 月	一時帰国(成人式)、春学期、期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は元々全く違う異国で生活することに興味がありました。さまざまな留学先の選択肢があったなかで、アジア圏とは全く違う社会や文化を持つヨーロッパ、その中でもフランスに友人がいたのでフランスに興味を持ち、留学することになりました。ヴェルサイユ大学を選んだ理由は、パリに近く、郊外に位置する大学なのでパリ市内より日本人が少ないだろうと思ったからです。また、旅行が好きなのでヨーロッパ中心部に位置し、どの国に行くにもアクセスのよいパリは非常に便利でした。10 か月間のフランスでの生活は、楽しいことだけではありませんでしたが、それでも人として大きく成長できたと感じます。

留学前にやっておけばよかったことは、簡単なフランス語の勉強です。自分も勉強してはいましたが、単語や正しい文法よりも、日常的にスーパーやレストランで使うようなお決まりのフレーズなどから覚えていけばよかったなと思いました。また、手続き関係は早め早めに進めておくことが大切です。特に手続き関係は相手のレスポンスが遅いことが多いので、自分で出来る範囲のことは手早く終わらせつつ、あまり焦らず待つことが精神的にも大事だと学びました。日本食については、パリ市内に行けばアジア系食料品店があり、品ぞろえも豊富なので、自分で持っていける範囲のものだけ持って行って、あとは現地で揃えることができます。ただ、日本より高いです。

また、フランスや多くの EU 加盟国では、ほとんどの美術館や博物館、歴史的建造物などは学生ビザで無料または非常に安いチケット代で入れます。自分の見聞を広げるために大いに活用してください。

留学生活では楽しいことだけでなく、文化や価値観の違いに悩むこともあります。異国の地で一人で暮らしているだけでも大変なことなので、困ったときは周りの人や日本にいる友人などに相談することをおすすめします。

最後に、留学中は授業だけでなく、旅行や現地の人と関われる活動など、自分から行動を起こすことが大切です。一年間、長いようであつという間だったので、後悔のないように、自分がやりたいと思ったことは全てやるくらいの勢いで過ごすと充実した留学生活になります。